

令和4年度事業計画

第1 基本方針

1 はじめに

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進展し、人生百年時代を迎えた今、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。内閣府「高齢社会対策大綱」では、「高齢社会に暮らす全ての世代の人々が安心して幸せに暮らせるよう、人々が若年期から計画的に高齢期に向けた備えを進めるとともに、各世代が特有の強みをいかしながら多世代のつながりを醸成し、全ての世代の人々が高齢社会での役割を担いながら、積極的に参画する社会を構築するための施策を推進する。」を方針とし、全ての世代の人々が高齢社会での役割を担いながら、積極的に参画する社会を構築するための施策の推進を図っています。

当シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

また、「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、地域の課題解決に資する事業等を重点に取り組み、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果たしていくことが求められています。

2 渋川市シルバー人材センターの運営状況と今後の見通し

高年齢者雇用安定法の改正による定年延長の影響など加入会員数は伸び悩み、シルバー事業の中核となる剪定や除草業務等においては、繁忙期に注文を断らざるを得ない状況も見られます。

令和2年1月に国内で新型コロナウイルス感染症が発生して以来、度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などの対策により、公共施設及び民間事業所等の事業休止及び縮小等の影響を受け、当センターも請負・委託事業の契約金額の減少が続いています。依然として今後の感染拡大が懸念されており予断を許さない状況が予想されます。

令和3年度から受取事務費を10パーセントから12パーセントに増額しました。コロナ禍の収束は不透明な状況のなか、社会経済の再生を期待するとともに、センター運営の主要な財源である国（連合）交付金や市補助金の確保に努め、安定したセンター運営を図っていきます。

3 基本方針

令和4年度の渋川市シルバー人材センター事業は、会員数の維持・拡大並びに女性会員の就業拡大、安全・適正就業、技能職種における後継者育成等の重要課題の取り組みの強化、並びに、会員の生きがいの向上と健康の維持・増進、会員の相互交流等を積極的に推進するために必要な予算を計上するものとします。

事業実施にあたっては、第三次中・長期計画に基づき、効率的な事業運営と経費節減に努め、会員数や契約金額などの数値目標の達成を目指します。

【重点事項】

(1) 会員の増強

- ア 1人1会員入会運動の取り組みの強化
- イ 新規会員募集の効果的な取り組み
- ウ 入会説明会の定期的な開催と臨時説明会の随時開催
- エ 技能系職種後継者育成のためのスキルアップ技能講習会、体験会等の実施

(2) 安全・適正就業の推進

- ア 安全・適正就業の周知 (安全啓発チラシ等)、徹底
- イ 安全パトロールの強化
- ウ 安全就業、交通安全、健康管理等に関する講習会の効果的、継続的開催
- エ ワークシェアリングによる公平な就業機会の提供

(3) 受注業務の新規開拓、既存業務の受注拡大

- ア 効果的な広報の実施 (ダイレクトメール、ポスティング)
- イ 役職員、会員一丸となった派遣事業拡大の取り組み強化
- ウ 女性会員の就業拡大

(4) 組織の活性化と法人運営の健全化に向けた効率的な事業運営

- ア 理事会、専門委員会の活性化
- イ 地域、職域を超えた会員の交流促進
- ウ 女性サロン等を通じた女性会員の連携強化、交流促進
- エ 「友の会」の入会促進及び活動支援
- オ 「センターだより」やホームページによる会員への情報発信の充実
- カ 法人運営の効率化と事務局体制の強化、運営経費の節減

(5) その他

- ア 市受託事業（シルバーカフェ等）の充実と円滑な実施
- イ インボイス制度施行（令和5年10月）に向けた対応の検討

第2 令和4年度事業目標

新型コロナウイルス感染症により経済活動が不安定な社会情勢が続き、コロナ禍の収束は未だ不透明であり先が見通せない状況が想定されますが、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の定着と経済活動再生に向けた施策の効果を期待し事業目標を設定します。

(1) 会員数	560 人		内訳 配分金 219,000 千円 材料費 22,440 千円 事務費 26,280 千円 合計 267,720 千円
(2) 契約金額	請 負	267,720 千円	
	派 遣	10,000 千円	
	計	277,720 千円	
(3) 就業延人員	請 負	53,000 人	
	派 遣	2,700 人	
	計	55,700 人	

第3 事業計画

1 会員拡大

地域社会におけるセンターの役割を果たすため、会員と役職員が一丸となって会員拡大に取り組みます。

- (1) 「1人1会員入会運動」の取り組み強化
- (2) 普及啓発活動を通じた新規会員募集の取り組み
- (3) 入会説明会の定期開催と臨時説明会、技能系職種後継者育成のための体験会等の実施
- (4) シルバーカフェ事業（※1）を活用した会員勧誘
- (5) ゴールド会員（※2）移行推進

※1 シルバーカフェ事業

浜川市の平成31年度新規事業で、4年目となる受託事業。各地区でカフェを開催し、当センターコーディネーターが高齢者の特性にあった社会参加へのきっかけづくりやシルバー人材センターの紹介等を行う。

※2 ゴールド会員

加齢や家庭の事情等により就業が困難となった会員が、就業を伴わないセンター事業や親睦会事業への参加を可能とする会員制度。

2 就業機会の拡大と就業率の向上

会員の豊かな知識、経験、技能等を活かし様々な就業ニーズに対応できるよう、就業機会の確保、拡大と新しい就業分野の開拓に取り組みます。

また、各種講習会を計画的に開催し、会員の知識及び技能の習得、技能系職種の後継者育成、シルバー事業の質の向上に努めます。

- (1) 「1人1仕事開拓運動」の推進
- (2) ダイレクトメール、ポスティング等による新たな就業先の開拓
- (3) 女性会員の就業機会の拡大
- (4) ワークシェアリング及びローテーション就業の推進による、会員への公平な就業機会の提供
- (5) 会員の技能習得と後継者育成のための講習会等の開催 (AED講習会、技能系職種後継者育成のためのスキルアップ技能講習会の実施)
- (6) 群馬県連合会主催による各種講習会（渋川会場）の開催

3 普及啓発活動の推進

シルバー事業の理念や仕組み、重要性等について広く地域住民や地域団体、企業等に周知を図ります。

- (1) 普及啓発推進委員会の開催（年1回）
- (2) 市のイベント等におけるPR活動の実施
- (3) 普及啓発、会員募集リーフレットの毎戸配布（年2回）
- (4) 公共施設等美化ボランティア活動の実施
- (5) 発注者や住民、企業等への「適正就業ガイドライン」周知
- (6) ホームページの充実による魅力あるセンターの発信

4 法令遵守と安全・適正就業の推進

会員が安心・安全に就業にできるよう安全就業の徹底を図るとともに、法令遵守と適正就業に努めます。

- (1) 安全・適正就業委員会の開催（年2回）
- (2) 安全パトロールの実施（年6回）
- (3) 群馬県連合会指導員による安全・適正就業巡回訪問指導の実施（年1回）
- (4) 会員への安全啓発チラシ等の配布による周知
- (5) 「安全・適正就業作業ガイドライン」、自動車等安全運転の徹底
- (6) シルバー保険及び熱中症見舞金保険等の加入、蜂毒アレルギー検査受診奨励
- (7) 安全就業講習会等の実施
- (8) 安全就業標語の募集、表彰
- (9) 群馬県連合会安全大会への会員及び役職員の参加

(10) 新型コロナウイルス感染症の感染予防の実施

5 一般労働者派遣事業の推進

会員の多様な就業ニーズと地域における人材不足に対応するため、一般労働者派遣事業を積極的に推進します。

- (1) 役職員、会員一丸となった派遣事業拡大の取り組み強化
- (2) 行政や企業等への一般労働者派遣事業の周知

6 福利厚生の充実

会員相互の親睦を深めるため、会員が自主的に運営する「友の会」の活動及び会員による交流活動に対し支援するとともに、会員の「生きがいづくり」、「健康づくり」、「居場所づくり」など、元気高齢者づくりを推進します。

- (1) 「友の会」への入会促進及び活動支援
- (2) 地域や職種を越えた会員の交流活動の促進、支援
- (3) 女性サロン等による女性会員交流活動の支援
- (4) 就業困難会員のゴールド会員移行推進<再掲>
- (5) 会報「センターだより」による会員への情報発信（年3回）

7 組織の活性化と効率的な事業運営

渋川市シルバー人材センターの強化、発展を図るため、理事会や専門委員会の活性化を図り、会員主体の事業運営を推進します。

また、将来にわたる安定的な経営基盤を確立するため、運営経費の節減と効率的な法人運営を推進するとともに、連合交付金及び市補助金増額を要望します。

- (1) 理事会の開催（年5回）
- (2) 各専門委員会の開催
 - ①企画経営委員会（年3回）
 - ②安全適正就業委員会（年2回）<再掲>
 - ③普及啓発委員会（年1回）<再掲>
- (3) 群馬県シルバー人材センター連合会主催の会員、役職員研修会参加
- (4) その他、センターの強化、発展のための調査、研究

8 行政や関係機関等との連携によるシルバー事業の積極的推進

地域ニーズや社会状況に的確に対応するため、渋川市をはじめ市内経済団体、地域団体及び群馬県シルバー人材センター連合会等との連携を図り、情報の収集と発信に努め、シルバー事業を積極的に推進します。

- (1) 行政との連携強化

- (2) 経済団体との連携強化
- (3) 自治会をはじめとする各種地域団体との連携強化、情報発信
- (4) 群馬県シルバー人材センター連合会及び県内拠点センターとの連携推進

9 その他

- (1) インボイス制度（適格請求書等保存方式）施行（令和5年10月）に向けた
対応の検討
- (2) 第4次中・長期計画の策定